

【院内フォーミュラリー(推奨薬リスト)】

薬事審議会 フォーミュラリー小委員会 2020年7月作成

DPP-4 阻害薬

	製品名	薬価(円)
第一選択薬	トラゼンタ錠 5mg	143.60

理由:

各薬剤の有効性、安全性を比較したところ、各種ガイドラインに DPP-4 阻害薬間で有効性や安全性などを直接比較した記載がなく、また副次的評価項目においても、各薬剤で大規模臨床試験が行われていたが、いずれもプラセボ群と比較して有効性を示せなかった。

そのため、患者の腎機能や肝機能で投与量の調節が必要なく、専門外の医師が処方する際に安全に処方できると考えられるトラゼンタ錠 5mg を第一選択薬として推奨する。

	製品名	薬価(円)
第二選択薬	テネリア錠 20mg	145.30
	グラクティブ錠 50mg	129.10

理由:

テネリア錠 20mg:

腎機能による用量調節が不要であり、また血液透析患者を行っている 2 型糖尿病患者において、インスリン療法へのテネリア錠追加の有効性と安全性を示している報告があったため、第二選択薬として推奨する。

グラクティブ錠 50mg:

DPP-4 阻害薬の中で最も薬価が安価であり、使用実績が多いため第二選択薬として推奨する。なお腎機能による用量調節が必要である。

*薬価は 2020/4/1 時点のものであり、変動することがあります。

【参考資料】 *薬価は 2020/4/1 時点のものであり、変動することがあります。

院内採用薬	グラクティブ錠 50mg	テネリア錠 20mg	トラゼンタ錠 5mg	ネシーナ錠 25mg
薬価(円)	129.10 円	145.30 円	143.60 円	170.10 円
適応症:2型糖尿病 用法・用量	1日1回 50mg を経口投与 効果不十分な場合には 1日1回 100mg まで増量可	1日1回 20mg を経口投与 効果不十分な場合には 1日1回 40mg まで増量可	1日1回 5mg を経口投与	1日1回 25mg を経口投与

薬剤名	グラクティブ錠50mg				テネリア錠20mg	トラゼンタ錠5mg	ネシーナ錠25mg			
腎機能による用量調節	腎機能障害	クレアチニンクリアランス (mL/min) 血清クレアチニン値 (mg/dL)*	通常投与量	最大投与量	添付文書に記載なし	添付文書に記載なし	血清クレアチニン (mg/dL)**	クレアチニンクリアランス (Ccr, mL/min)	投与量	
	中等度	30 ≤ CrCl < 50 男性: 1.5 < Cr ≤ 2.5 女性: 1.3 < Cr ≤ 2.0	25mg 1日1回	50mg 1日1回			中等度腎機能障害患者	男性: 1.4 < ~ ≤ 2.4 女性: 1.2 < ~ ≤ 2.0	30 ≤ ~ < 50	12.5mg、1日1回
	重度、末期腎不全	CrCl < 30 男性: Cr > 2.5 女性: Cr > 2.0	12.5mg 1日1回	25mg 1日1回			高度腎機能障害患者/ 末期腎不全患者	男性: >2.4 女性: >2.0	<30	6.25mg、1日1回
肝機能による用量調節	添付文書に記載なし				Child-Pugh分類で合計スコア9超を対象とした臨床試験は実施していない。	添付文書に記載なし	添付文書に記載なし			